

補聴器選びは？

老人性難聴と診断され、生活に支障を来す場合、補聴器を勧められることがある。「認定補聴器専門店」には、専門知識を持った認定補聴器技能者が常勤し、検査設備も整っており、店舗選びの基準にしたい。

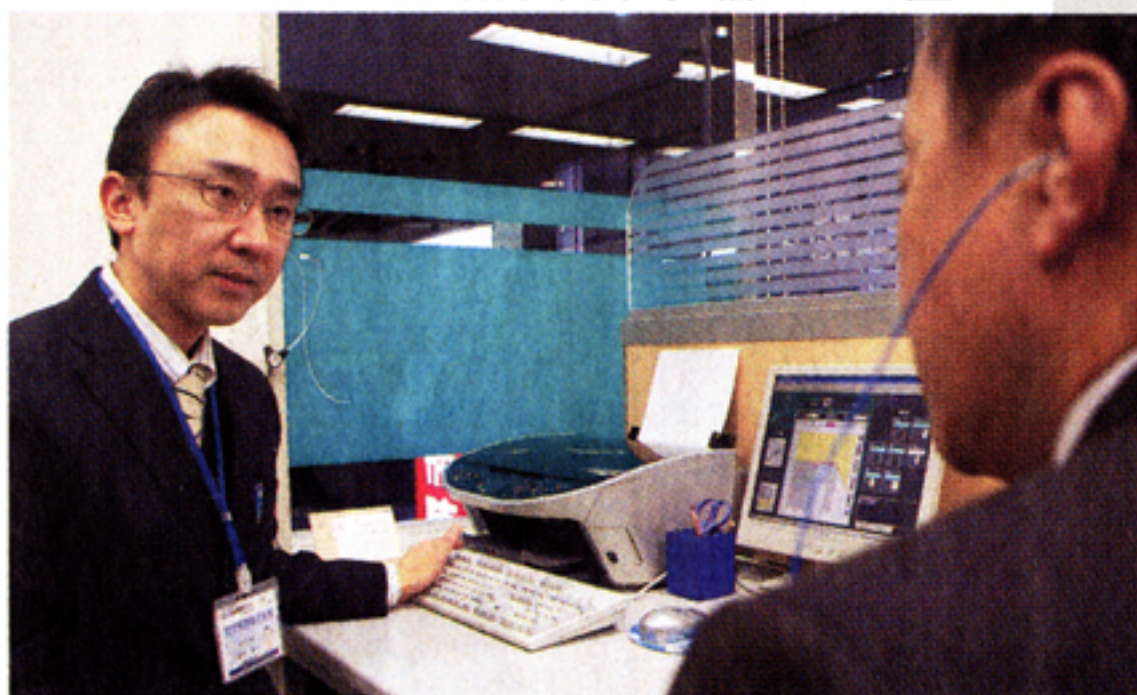
同技能者は5年以上の実務経験を持ち、講習で医学的知識や音響学などを学び、試験に合格することが必要。専門店に認定される

着けてみて調整必要

認定専門店 全道に20店

には、技能者や設備の有無のほか、耳鼻科医との連携も条件となっている。

岩崎電子（札幌）補聴器センターは、全8店舗が認定専門店。検査データを基に、本人とやりとりしながら微妙な調整を行っている。同社の中津政典・聴能営業部長は「補聴器最近では、パソコンを使って聞こえを調整する認定補聴器技能者」



器も眼鏡と同様、実際に着けてみて調整することが大切。また、補聴器を着けても、若いころと同じように聞こえるわけではないので、周囲の配慮も必要」とアドバイスしている。

認定補聴器専門店は、全道に20店。詳しくは、福祉用具の研究開発などをしている財団法人テクノエイド協会 ☎ 03・3266・6882へ。